

令和7年度 西尾市の全国学力・学習状況調査結果について

1 調査実施日

令和7年4月17日（木） ※中学校理科は指定日実施

2 児童生徒数

市内小学校・義務教育学校（前期）26校 1,500名

市内中学校・義務教育学校（後期）10校 1,597名

3 教科の状況（全国の平均正答率と比較して）

(1) 小学校6年生の状況

国語	<ul style="list-style-type: none">・努力を要する状況である。・「読むこと」に課題がある。目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける力を伸ばしたい。
算数	<ul style="list-style-type: none">・おおむねできている。・「測定」の領域がよくできている。・「数と計算」の領域に課題がある。数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉える力を伸ばしたい。
理科	<ul style="list-style-type: none">・努力を要する状況である。・「粒子」「地球」を柱とする領域は、おおむねできている。・「生命」を柱とする領域に課題がある。顕微鏡を操作して観察する技能や、差異点や共通点を基に新たな問題を見いだして表現する力を伸ばしたい。

(2) 中学校3年生の状況

国語	<ul style="list-style-type: none">・努力を要する状況である。・「書くこと」はおおむねできているが、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く力に課題がある。・「話すこと・聞くこと」に課題がある。資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する力を伸ばしたい。
数学	<ul style="list-style-type: none">・おおむねできている。・「数と式」の領域において、式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明する力を伸ばしたい。・「データの活用」において、相対度数を求める力を伸ばしたい。
理科	<ul style="list-style-type: none">・できている。・身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定する力を伸ばしたい。

4 質問紙調査の結果（傾向が顕著な項目を抜粋）

(1) 小学校6年生

ア よい傾向がみられるもの

- ① 朝食を毎日食べている児童が多い。
- ② いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童が多い。
- ③ 人の役に立ちたいと思う児童が多い。

イ 全国と比較して気になる傾向がみられるもの

- ① 総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表することに課題がみられる。
- ② PC・タブレットなどのICT機器を使ってプレゼンテーションを作成することに課題がみられる。

(2) 中学校3年生

ア よい傾向がみられるもの

- ① いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う生徒が多い。
- ② 人の役に立ちたいと思う生徒が多い。
- ③ インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思う生徒が多い。

イ 全国と比較して気になる傾向がみられるもの

- ① 国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えようとすることに課題がみられる。
- ② 数学の授業で、どのように考えたのかについて説明することに課題がみられる。

5 調査結果活用に向けた西尾市の取り組み

○西尾市教育委員会としては、調査結果をさらに分析し、児童生徒の学力を維持・向上させるための具体的な指導法の提案や教員の授業力向上のための取組をまとめ、各学校に示していく。

○各校においては、調査結果から明らかになった自校の課題を分析し、課題解決に向けて主体的・対話的で深い学びの視点からの具体的な授業改善に取り組んでいく。

6 留意点

この調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面である。